

備メ協第24号

令和3年7月14日

備中地区各消防長 様

備中地区メディカルコントロール協議会

会 長 椎野 泰和



新生児心肺蘇生法について（通知）

標記のことについて、次のとおり行うこととしましたので、お知らせします。

記

- 1 新生児心肺蘇生については、「救急隊員の行う心肺蘇生法の実施要領（平成29年3月30日付消防庁通知，消防救第40号）」に定める「救助者が1人の場合は，胸骨圧迫30回，人工呼吸2回のサイクルを，救助者が2人の場合は，胸骨圧迫15回，人工呼吸2回のサイクルを繰り返す」を基本として実施する。
- 2 JRC蘇生ガイドライン2015では，「新生児蘇生を行う上での焦点は，第一に換気を確立することで，循環のサポートは次の目標」とされ，3：1の圧迫・換気比が推奨されているため，救助者が2人の場合で，うち少なくとも1人がNCPRアルゴリズムの教育を受ける等一定の訓練を行った者※である場合については，JRC蘇生ガイドライン2015で定める新生児心肺蘇生法（3：1の圧迫・換気比）の実施を認めることとする。

※NCPRアルゴリズムの教育を受ける等一定の訓練を行った者とは，NCPR，BLSOを受講した者のみならず，これらの受講者から教育を受けた者を含むものとする。